

WILEY

Wiley Online Library ユーザーガイド

目次

- 対応ブラウザ.....2
- 収録コンテンツ2
- アクセスアイコン.....2
- ホームページ.....3
- 検索.....4
- 検索のための追加機能.....5
- キーワード.....5
- 検索式の修正.....6
- アドバンストサーチ.....6
- 検索式の保存.....7
- 論文ページで使える機能.....8
- 書籍コンテンツの機能.....10

(2020年9月改訂)



ユーザーガイド

WILEY ONLINE LIBRARY ユーザーガイド

Wiley Online Library は、研究者をはじめとする読者が自分のニーズに合ったコンテンツを発見し、利用するための多くの機能を備えています。例えば：

- すぐれた検索機能と、今日の利用環境として最適とされる業界標準に準じたユーザーインターフェース
- プラットフォームの柔軟性を高めることにより、今後新機能の追加が容易に
- 自機関ブランディング（ロゴマークの表示）を改善
- 従来のHTTP通信に代えて、暗号化により安全性を高めたHTTPS通信を導入

このユーザーガイドでは、Wiley Online Libraryの機能と使い方を、ステップを追ってご説明します。コンテンツの検索や閲覧を容易に行えることがお分かりいただけるはずです。

対応ブラウザ

Wiley Online Libraryは、次の各ブラウザに対応しています。

- Internet Explorer 10 以降
- Chrome（安定した最新版）
- Firefox（安定した最新版）
- Safari（安定した最新版）

収録コンテンツ

- ジャーナル 1,600誌以上（論文数は400万以上）
- オンラインブックス（電子書籍）20,000点以上
- オンラインレファレンスワーク（事典類）200タイトル以上
- カレントプロトコル 18タイトル（生命科学の標準的な実験法 18,000 以上を収録）
- 化学および医学情報データベース13点

Wiley Online Libraryは理工医学から人文社会科学までを126の小分野に分けて網羅し、広範なコンテンツへのアクセスを提供します。

アクセスアイコン

Wiley Online Library上のコンテンツのうち、自機関での購読・契約やオープンアクセスによってどれにアクセスできるかが一目で分かる便利な機能です。

検索でヒットした論文や書籍の章に、次ページのいずれかのアクセスアイコンが付いていたら、そのコンテンツに対してアクセス権があることを示しています。

ユーザーガイド

-  Full Access **Free Access** – 無料公開されているコンテンツ
-  Free Access **Full Access** – 講読・契約によってアクセス権あり
-  Open Access **Open Access** – オープンアクセスで利用可能

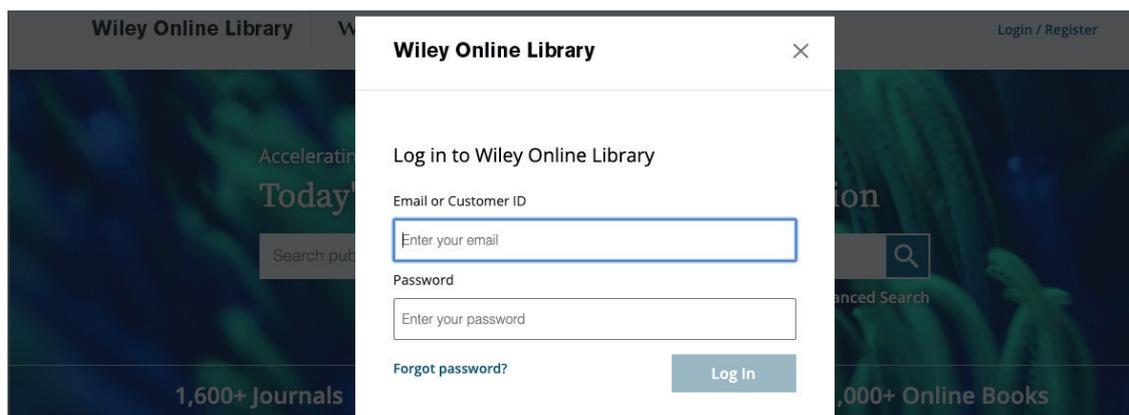
ホームページ

Wiley Online Libraryの検索や、抄録までの閲覧は、ログインの必要なくどなたでも利用できます。しかし、ユーザー登録を行ってログインしていただくことで、よく使うタイトルや検索式の保存、目次アラートの配信の設定、My Account エリアに登録したユーザー情報の管理といった追加機能が利用できるようになります。

- ログインおよびユーザー登録(Register)へのリンクは、ホームページの画面右上にあります。このリンクは、Wiley Online Library中の他のページでも同じ場所にあります。



- Login/Regheaderリンクをクリックすると、前もってユーザー登録した際のメールアドレスとパスワードを使ってログインできます。
- ユーザー登録をお済ませでない方は、new userリンクをクリック後、画面の指示に従って登録を行って下さい。
- 図書館管理者向け情報 -- 管理者としてログインするには、管理者用ID・パスワードを使って、一般利用者と同様にホームページからログインして下さい。管理者専用のログインページを開く必要はなくなりました。

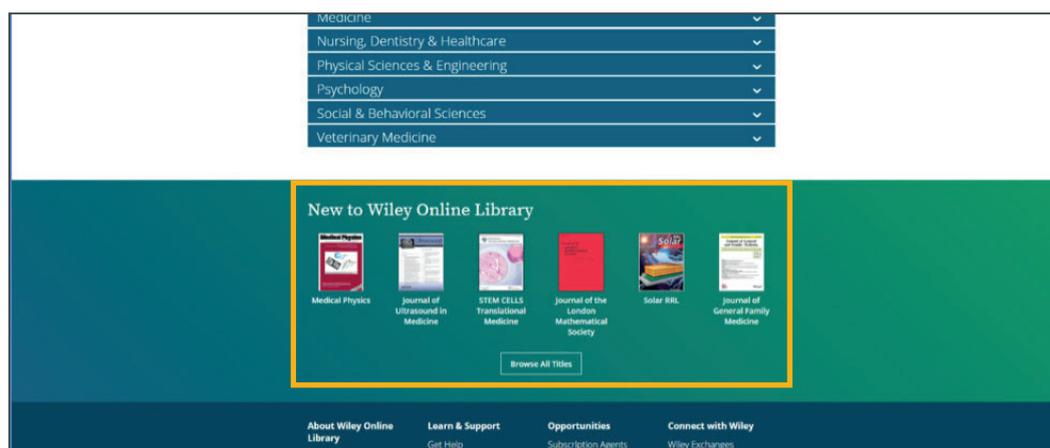


ユーザーガイド

検索バーの下には、研究者・図書館員・学協会リーダー・著者という4つのタイプの利用者グループごとに、それぞれ必要とする情報へのリンクが明確に示されています。

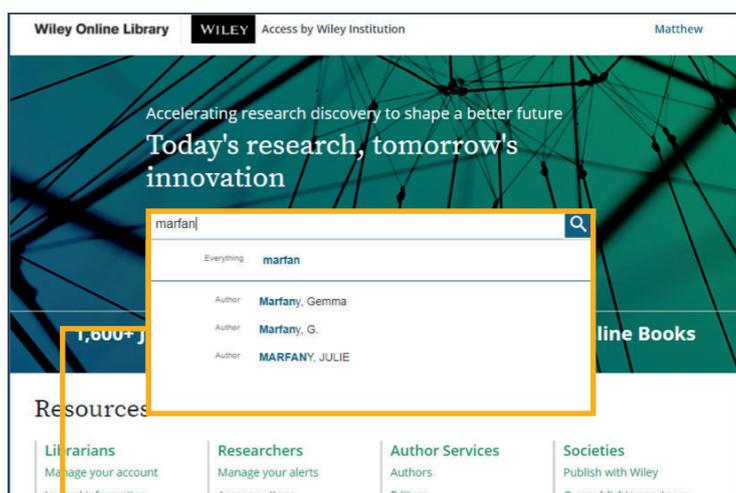
画面を下にスクロールすると、分野の大分類が表示され、クリックするとその分野に属する下位分野が現れます。どれか一つをクリックすると、その分野に関連するコンテンツが一覧できます。

分野名の下には、新着タイトルを紹介するセクション New to Wiley Online Libraryがあります。その下にあるBrowse All Titlesボタンをクリックすると、ジャーナルと書籍の全タイトル一覧が表示されます。



検索

検索バーはホームページの中央に置かれています。



シンプルサーチバー

検索語の予測候補表示機能が追加されました。検索語が含まれる場所に関わらずヒットする標準オプション("Everything")に加えて、検索語が著者名・タイトルなど特定の場所に含まれるコンテンツに限定して検索するオプションも選べます。

ユーザーガイド

検索のための追加機能

“Articles and Chapters” タブでは、検索でヒットした論文や書籍の章が一覧表示されます。

一部の学会は、ある主題に関する複数の論文を Virtual Issues（オンライン特集号）や Journal Special issues（ジャーナルの特集号）としてまとめます。Collections タブでは、そのような Virtual Issues, Special issues で検索にヒットしたものを表示します。

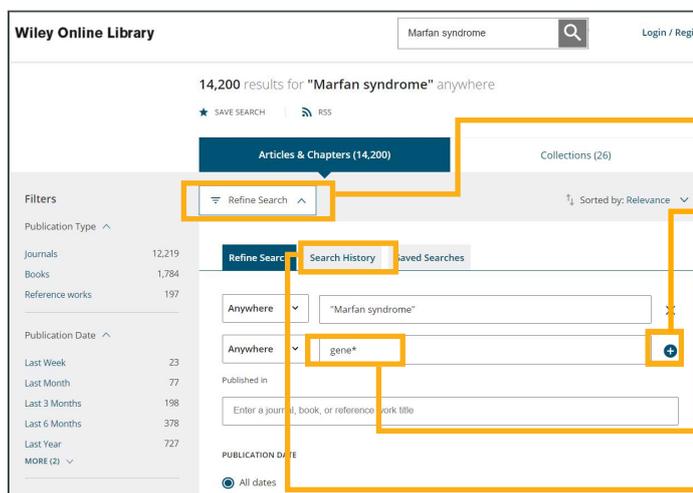
Export Citations を使うと、検索で得られた文献の情報を一括で、または個別に選んで出力できます。

フィルター機能を使うと、ジャーナル・書籍など出版物の種類、出版時期、主題、掲載ジャーナルの誌名、著者名、オープンアクセスか否かといった条件を追加して、検索結果を絞り込めます

キーワード

検索結果から論文ページに進むと、画面右のInformationタブに、その論文に付けられたキーワードが表示されます。それらのキーワードを使うと、元の検索語に関連する用語でさらに検索を進めることができます。表示された用語の中で例えば 'Marfan's syndrome' をクリックすると、この主題を扱う文献の検索結果が得られます。

ユーザーガイド

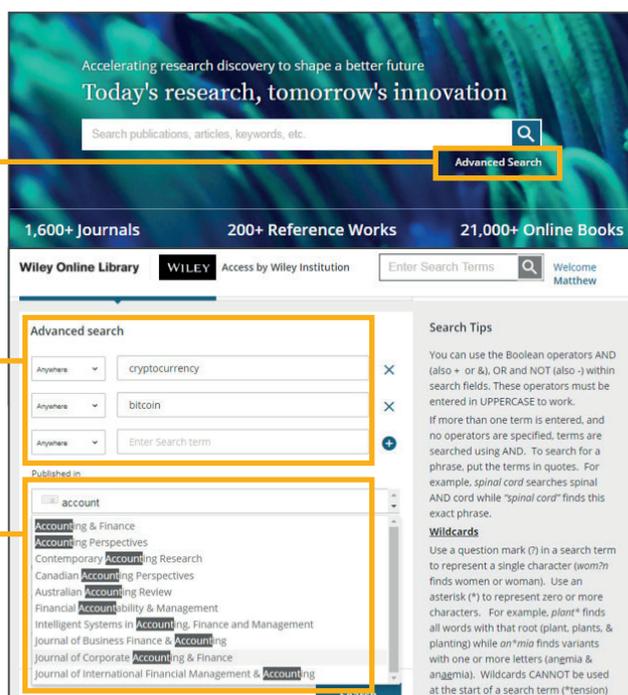


検索式の修正

1. 検索結果の画面で Refine Search をクリックすると、たった今実行した検索に別の検索語を追加して「ブール検索」(掛け合わせ検索)が行えます。
2. プラス(+)ボタンをクリックすると、検索語を入力する行を追加できます。
3. 検索語の末尾にアスタリスク(*)を付けると、語形変化した関連語も合わせて検索できます。例えば gene* で検索すると、geneticsなどもヒットします。
4. Search History タブをクリックすると、それまでの検索履歴を遡れます。

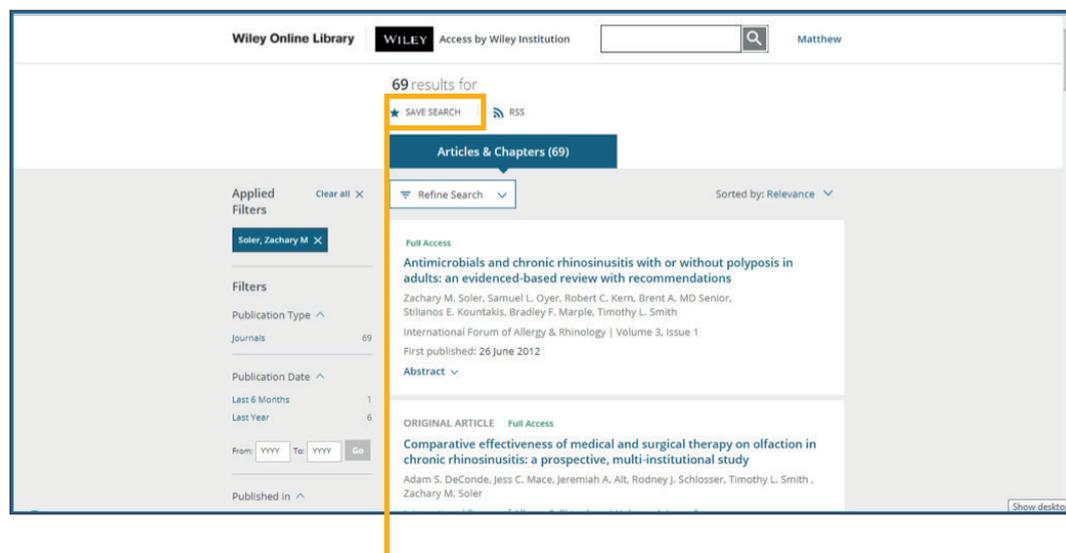
アドバンストサーチ

1. さらに複雑な検索を行うには、ホームページの検索バーの下に Advanced Search リンクをクリックします。
2. 利用者は、複数の検索語を掛け合わせるのに、ブール演算子(AND, OR, NOT)を使った検索式を自ら記述する必要はありません。画面の右側には、検索のヒント(Search Tips)が表示されます。前項の Refine Search機能と同じように最初の検索結果にフィルターを適用して絞り込みます。上図の例では、cryptocurrency (暗号通貨) についての文献を探しています。
3. 検索語として cryptocurrency の他に bitcoin や risk を追加できます。また特定のジャーナルの掲載論文に絞って検索を行うこともできます。例えば 会計学(accounting) 分野のジャーナルを探したい場合は、acc と入力すると、その文字列をタイトルに含むジャーナルが下に列挙されます。

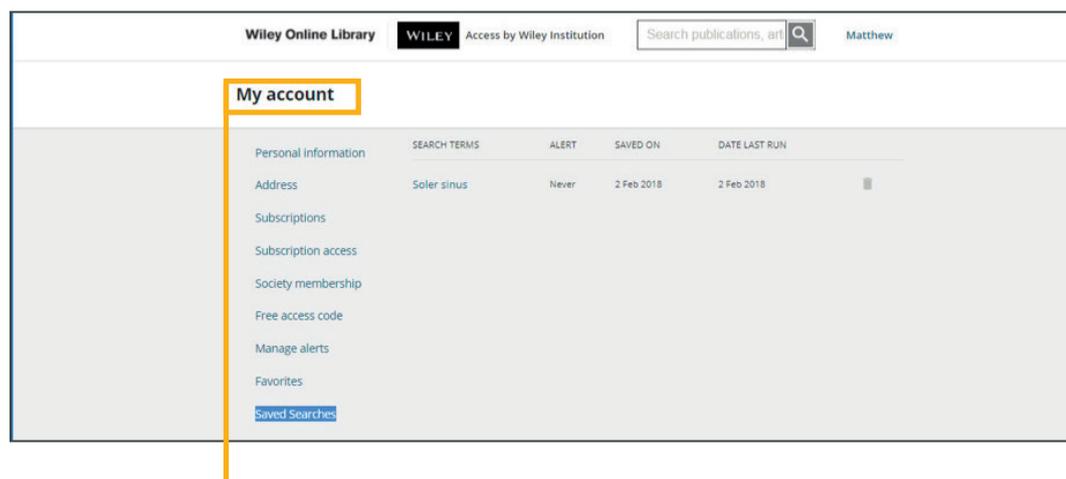


ユーザーガイド

検索式の保存



1. 検索式を保存したり、過去に保存した検索式を見るには、ログインが必要です。検索式を保存するには、検索を実行した後、画面上部の save search をクリックします。検索式は自分のアカウントに保存されます。検索式には覚えやすい名前を付けることができます。またその検索条件に当てはまる新着文献を自動的に通知するメール配信（日・週・月単位）で設定できます。Neverを選ぶとメールは配信されません。



2. 過去に保存した検索式を見るには、画面右上に表示される自分の名前をクリックして、My Account → Saved Searches と進んでください。検索式を保存してメール配信を受け取る代わりに、RSSフィードを利用する方法もあります。

ユーザーガイド

論文ページで使える機能

論文へのリンクをクリックすると、まず抄録が表示されます。

1. 画面のトップに、Wileyコンテンツへのアクセスを提供しているご所属機関名が表示されます。
2. 論文の掲載誌が、バナー画像で示されます。
3. 画面右の表紙画像は、掲載号の目次にリンクしています。
4. ジャーナルバナーの下に、表題・著者名・出版日など論文の文献情報が表示されます。

論文の本文へのアクセス権の有無に関わらず、論文の抄録はすべて無料公開されています。抄録には本文のHTML版へのリンクが付いています。Sectionsリンクから、論文中の任意のセクションにジャンプできます。

Wiley Online Library WILEY Access Provided by Wiley Institut Enter Your Search Term Matth

International Forum of Allergy & Rhinology AS AAOA

Original Article Full Access

Antimicrobials and chronic rhinosinusitis with or without polyposis in adults: an evidenced-based review with recommendations*

Zachary M. Soler MD, MSc, Samuel L. Oyer MD, Robert C. Kern MD, Brent A. MD Senior, Stilianos E. Kountakis MD, PhD, ... See all authors

First published: 26 June 2012 | <https://doi.org/10.1002/alr.21064>

OpenURL

* Potential conflict of interest: B.A.S. is a consultant for Sinuwave Technologie ... More

SECTIONS PDF TOOLS SHARE

Volume 3, Issue 1 January 2013 Pages 31-47

Figures References Related Information

Metrics Downloads: 0

Details Copyright © 2013 American Rhinology Society/American Academy of Otolaryngic Allergy, LLC

Original Article Full Access

Antimicrobials and chronic rhinosinusitis with or without polyposis in adults: an evidenced-based review with recommendations*

Zachary M. Soler MD, MSc, Samuel L. Oyer MD, Robert C. Kern MD, Brent A. MD Senior, Stilianos E. Kountakis MD, PhD, Bradley F. Marple MD, Timothy L. Smith MD, MPH

First published: 26 June 2012 | <https://doi.org/10.1002/alr.21064> | Cited by: 37

* Potential conflict of interest: B.A.S. is a consultant for Sinuwave Technologies Corporation (Va ... More

SECTIONS PDF TOOLS SHARE

Advertisement

Scope it out from the International Forum of Allergy & Rhinology WILEY

Podcast series

Figures References Related Information

Metrics Citations: 37

PDF・各種ツール・シェアリング

1. 論文の本文PDFをダウンロードするには、ここをクリックします。
2. Links をクリックすると、引用文献の一覧がリンクつきで表示されます。この論文を引用している論文や、関連文献も見ることができます。
3. 表示の拡大・縮小、ダウンロード、印刷、論文のシェアといった操作ができます。

View in Website Page 1 / 17

INFO OUTLINE MATERIALS LINKS

REFERENCES CITED BY RECOMMENDED

1 Scheid DC, Hamm RM. Acute bacterial rhinosinusitis in adults: part I. Evaluation. Am Fam Physician 2004;70:1685-1692.

PUBMED WEB OF SCIENCE® GOOGLE SCHOLAR

2 Kern RC, Conley DB, Walsh W, et al. Perspectives on the etiology of chronic rhinosinusitis: an immune barrier hypothesis. Am J Rhinol. 2008;22:549-559.

CROSSREF PUBMED WEB OF SCIENCE® GOOGLE SCHOLAR

ORIGINAL ARTICLE

Antimicrobials and chronic rhinosinusitis with or without polyposis in adults: an evidenced-based review with recommendations

Zachary M. Soler, MD, MSc, Samuel L. Oyer, MD, Robert C. Kern, MD, Brent A. Senior, MD, Stilianos E. Kountakis, MD, PhD, Bradley F. Marple, MD, and Timothy L. Smith, MD, MPH

Background: Chronic rhinosinusitis (CRS) is characterized by inflammation of the mucosa of the nose and paranasal sinuses. The role of bacterial or fungal infection in CRS is unclear, yet antimicrobials are commonly prescribed for this condition. Published guidelines offer little direction regarding antibiotic strategies for CRS. The purpose of this article is to provide an evidence-based approach to the use of antimicrobial and antifungal antibiotics in the management of CRS.

Methods: A systematic review of the literature was performed following recommendations of the Clinical Practice Guideline Manual, Conference on Guideline Standardization (COGS), and the Appraisal of Guidelines and Research Evaluation (AGREE). Inclusion criteria were age ≥ 18 years old, chronic rhinosinusitis with or without polyposis, antibiotic treatment as the experimental group, and clearly defined primary clinical endpoint. Studies involving patients

weak, macrolide antibiotics, intravenous antibacterial antibiotics, and prolonged macrolide antibiotics are considered therapeutic options in the treatment of CRS while the use of topical antibacterial antibiotics, intravenous antibacterial antibiotics and oral, topical, or intravenous antifungals would be recommended against. These evidence-based recommendations should not necessarily be applied to all patients with CRS and are not intended to supersede clinical judgment based on individual patient circumstances. © 2013 ARS-AAOA, LLC.

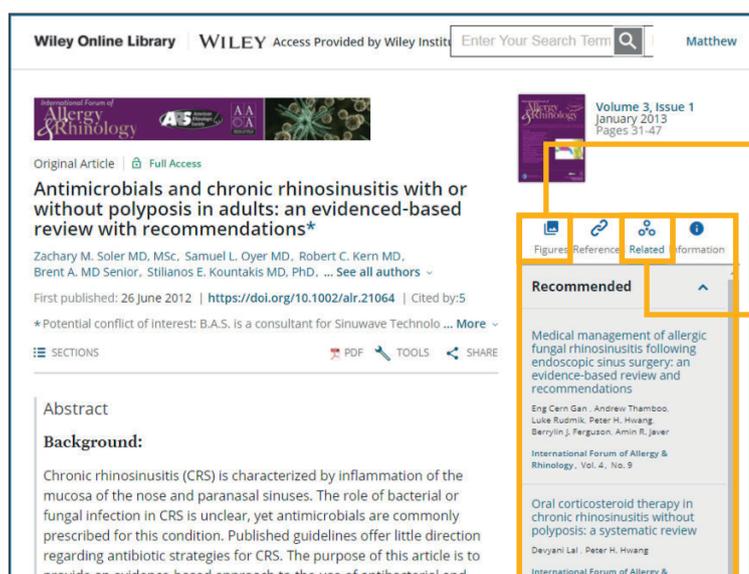
Key Words: chronic rhinosinusitis; antibiotics; antifungals; macrolides; evidence-based medicine.

Download PDF

ユーザーガイド



1. 論文ページでPDFボタンの右にある **Tools ボタン** ドロップダウンメニューから論文使用許諾の申請、さまざまな形式での文献情報のエクスポート、「お気に入り」への論文の追加（ログインが必要）、論文が他の論文に引用されると自動的にメールで通知するCitation Alertの設定が可能です。
2. 今見ている論文の情報をメール、Facebook, Twitter, LinkedIn, Reddit, Wechatなどを通じて他のユーザーと**シェア**できます。その論文へのアクセス権があれば、Share Full Text Accessリンクをクリックすると、本来アクセス権のないユーザーでも本文まで読める特別なURLを取得して共有できます。



論文中のfigure（図表）は、Figuresタブから一覧表示できます。特定のfigureをFigure Viewerで画面表示したり、ダウンロードしてPowerPointのスライドに取り込むことができます。

Related タブでは、今見ている論文と関連した主題を扱い、参考になりそうなおすすめ論文が表示されます。

*生命科学の実験法 Current Protocols は、現在ジャーナルのカテゴリーに含まれ、表示形式や機能も同等となっています。

ユーザーガイド

書籍コンテンツの機能

Fundamentals of Photonics
Author(s): Bahaa E. A. Saleh, Malvin Carl Teich
First published: 14 August 1991
Print ISBN: 9780471839651 | Online ISBN: 9780471213741 | DOI: 10.1002/0471213748
Copyright © 1991 John Wiley & Sons, Inc.

HOME | AUTHOR BIOGRAPHY

Author Bios
About the authors BAHAA E. A. SALEH is Professor and Chairman of the Department of Electrical and Computer Engineering at the University of Wisconsin, Madison. He is the Editor of the Journal of the Optical Society of America and the author of Photoelectron Statistics. He is a Fellow of the IEEE, the Optical Society of America, and the John Simon Guggenheim Foundation. Dr. Saleh is currently involved in research in the areas of image processing, optical signal processing, ... [Show all](#) ▾

Table of Contents

Free Access

Frontmatter and Index (Pages: i-xix)
[Summary](#) | [PDF](#) | [Request permissions](#)

Get online access
For authors

書籍タイトルのホームページでは、著者の略歴やその本の目次、各章のPDFダウンロード、各章の引用文献一覧の表示といった操作が可能です。その本のすべての章を一括ダウンロードするオプションもあります。

Chapter 15
Photons in Semiconductors
Book Author(s): Bahaa E. A. Saleh, Malvin Carl Teich
First published: 14 August 1991 | <https://doi.org/10.1002/0471213748.ch15>
Series Editor(s): J. W. Goodman

PDF TOOLS SHARE

Summary
Electronics is the technology of controlling the flow of electrons whereas photonics is the technology of controlling the flow of photons. Electronics and photonics have been joined together in semiconductor optoelectronic devices where photons generate mobile electrons, and electrons generate and control the flow of photons. The compatibility of semiconductor optoelectronic devices and electronic devices has, in recent years, led to substantive advances in both technologies. Semiconductors are used as optical detectors, sources (light-emitting diodes and lasers), amplifiers, waveguides, modulators,

Details
Copyright © 1991 John Wiley & Sons, Inc.

Keywords
photons semiconductors materials
problems exercises electrons
holes junctions heterojunctions

目次から特定の章をクリックすると、その章の要約がHTML表示されます。併せてその本のISBN、出版履歴、キーワード、すべての章を一括または個別の章単位でPDFダウンロードするためのリンクも表示されます。

書籍の章のPDFは、ジャーナル論文のPDFと違ってインタラクティブ性を備えていませんが、拡大・縮小表示、印刷、ダウンロードといった機能を利用できます。

オンラインレファレンスワーク（オンライン事典）も一般の書籍コンテンツと似ていますが、多くのタイトルでは、目次から記事にアクセスするだけでなく、記事の主題で検索できます。

利用にあたってご不明の点がございましたら、各種資料やチュートリアル動画をまとめたサイト [トレーニングハブ](#) をご覧いただくか、または [ワイリー・パブリッシング・ジャパン marketing@wiley.co.jp](mailto:wiley-japan-marketing@wiley.co.jp) までお申し付け下さい。

